News Release



富山火力発電所 4 号機の起動延期について

平成24年7月26日 北陸電力株式会社

富山火力発電所4号機(定格出力:25万kW)は、昨日(7月25日)21時30分に電力需要の低下に伴い発電を停止し、本日(7月26日)7時00分に発電を再開する予定でした。しかしながら、本日の起動準備中に主タービンの蒸気加減弁が全開にならないという事象が発生し、本日、予定していた起動を延期いたしました。

その後、蒸気加減弁の各部点検および動作確認を実施し、問題のないことを確認しました。これにより、富山火力発電所4号機は起動できる状態になりましたが、本日は一定の供給予備率を確保できていることから、起動を見送ることといたしました。

富山火力4号機の起動延期により、本日の供給力は549万kWから524万kWに減少しましたが、最大電力495万kWに対する供給予備率は5.8%を確保しており、電力の安定供給に支障はありません。

なお、今回の起動延期に伴い、停止していた富山新港火力1号機(定格出力:50万kW)を本日、起動させることといたしました。

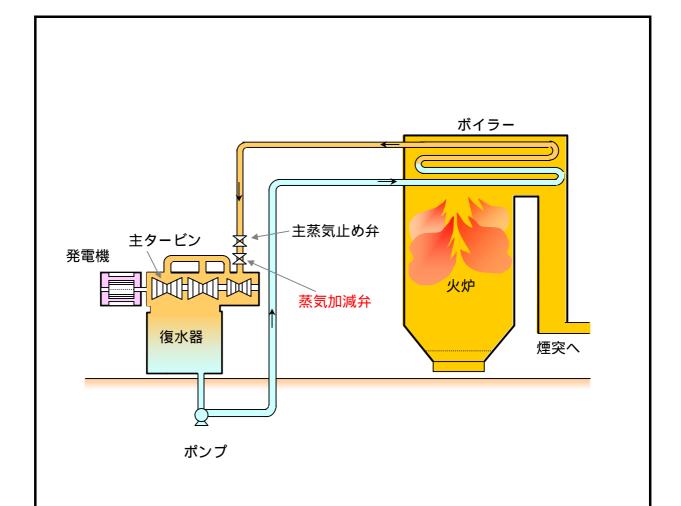
蒸気加減弁

主タービンに流入するボイラーで発生した蒸気の量を調整する弁

別紙 主タービン蒸気弁 概要

以上

【主タービン蒸気弁 概要】



主蒸気止め弁;発電を停止する際に、閉とすることで、主タービンに流入する

蒸気を止める弁

蒸気加減弁 ; 主タービンに流入する蒸気の量を調整する弁

以上